

令和5年9月3日

作成：風早北部地域ふるさと協議会

防犯防災部

第3回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和5年9月2日(土) 午前9時30分～午前11時30分
- ◆ 会 場：沼南近隣センター2階 学習室1・2・3
- ◆ 出席団体：井堀内町会②・追花町会②・柏東パークホームズ管理組合・中郷町会・中の橋町会・緑台町会②・舟戸町会②・沼南エリカマンション②・塚崎区・塚崎二丁目自治会・塚崎三丁目自治会・大津ヶ丘一丁目町会・大津ヶ丘三丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会②・サンパワー区管理組合・大津ヶ丘第三住宅管理組合・同第五住宅管理組合③・グランシティ大津ヶ丘団地管理組合・プラムナード大津ヶ丘団地管理組合・塚崎パークヴィラ自治会②・リバティーヒル柏自治会②・手賀の杜自治会・大津ヶ丘中学校・大津ヶ丘第一小学校・風早北部小学校② 以上25団体／36名…○数字は2名以上参加者数
オブザーバー参加：柏市沼南近隣センター（1名）

1. 防犯防災部長冒頭あいさつ（下記の主旨で発言）

残暑の中でのご参集に感謝申し上げます。先週の納涼夏まつりは4年ぶりの当会主催地域まつりとして、たくさんの地域住民の皆さんの参加をいただきました。その中心となったお子さんは、昨日から新学期が始まりましたが、皆さん元気に就学再開となっているであろうことを祈念します。それと同時に交通事故の心配も新たに意におかなければなりません。本日はその点を含め、まずは防犯関係のお話しをし、加えて交通安全補助員募集に関するご紹介をさせていただきます。その後、前回の継続事項として地域防災訓練につき皆さまにはご協議をいただきますので、よろしくお願いいたします。

その他の部長発言として、今月は関東大震災から100年が経過し、市の総合防災訓練の実施を含む市の取り組みや姿勢が、広報かしわ最新号で紹介されていたので、その概要を案内し、当会防犯防災部長からの寸評として、評価できる部分3点、課題として指摘すべき3点につき説明した。

今回の地域防災訓練にて当会から推奨する内容が当地域、更に柏市全体に拡大することで、柏市民の防災力が確実に高まるとともに、現行の柏市防災行政組織のスリム化策をもって、抜本的な行政改革や組織見直しにも繋がるものと確信しており、その遂行に地域住民皆さんの注力を何卒お願いします。【発言詳細は会議配付資料を参照】

2. 協議・説明の内容

(1) 前回会議（7月29日実施）結果議事録案の確認

配付資料の内容で確認し、今後当会HPに掲載予定

(2) 柏市における最近の防犯関係の話題として、①盗難車問題とその対策、②迷惑メール対策として情報掲載サイトの案内、③風早北部小学校周辺における登校時間での学童見守り協力の要請（学校運営協議会から）、④11月の防犯講習会の案内を行った。その概要は以下の通り。

- ① 盗難車のハイテク手段である、リレーアタック、CAN インバーダー、イモビカッター、コードグラバーにつきスライド資料に沿って解説し、併せて「防犯情報しょうなん第134号」を案内（住民への本件教宣も依頼）した。
- ② 日本データ通信協会の迷惑メール相談サイト（同第135号）を上記①同様に住民への案内をお願いした。
- ③ 風早北部小学校運営協議会からの依頼事項として、同校前交差点等の学童登校時の安全誘導補助員のボランティア募集のチラシを配布、近在住民ボランティア募集、町内でのチラシの回覧を周辺団体をお願いした。
- ④ 11月25日土曜日午前中に、およそ90分間の「防犯講習会」を予定しており、その内容を紹介（配付のチラシは12月2日で掲載しているが実施予定は11月25日です）。本チラシ最終版は次回の広報しょうなんに掲載して地域住民にも案内予定であることを伝えた。

(3) 今期前半の活動である秋季防災訓練実施に向け、当会から推奨する訓練の内容につき、改めて配付資料に沿って以下の内容を説明。その後、前回の継続協議を、域内学校避難所に分かれて行っていただいた。

- ✓ 災害発生時に大きな怪我をしないため、シェイクアウト訓練実施の住民への呼び掛けをお願いしたい
- ✓ 災害時は電話や SNS の利用が制約されることから、安否確認訓練として、各世帯単位で災害伝言ダイヤルの活用による安否確認（試行）の実施を呼び掛けて欲しい。また団体単位では是非、目印ナシ世帯の確認と結果の共有をお願いしたい。これが災害本番では命を救う手立てとなる。一方、目印有りの確認のみを訓練の対象とされている団体は、是非、その翻意（別の訓練実施の検討）をお願いしたい。
- ✓ 安否確認結果の電話（公衆電話はあり）以外の手段での通報訓練を実施
- ✓ 避難移動訓練として、住民が直接避難する手段とともに、一時避難場所を定め、そこから役員の先導で住民が避難するような代替避難ルートを設けた訓練の実施も推奨した。更に、K（カシワ）ネット登録住民の避難訓練時のサポート体制の構築も要請した。
- ✓ 避難所での訓練として実施をお願いしたい事項：訓練来訪者の確認が必須であるため、避難所来訪者の受付を確実に実施頂きたい。
（以下は本会議での説明は省略）
余力があれば、愛犬等ペット同伴に限界があること、マイカー+マイテント避難の実施検討、避難所受付での来訪者の把握、柏市の指定避難所の定義説明（体育館等屋内に先ず避難するとの考えは誤りであること）、避難所運営主体者は最終的には住民自治で有り、市職員や学校関係者では決してないことの説明。
- ✓ なお、各団体から提示された今期の防災訓練実施予定計画は別紙一覧表（本会議後に集約した内容を反映）のとおりである。

(4) その他

- ✓ 当会発信防災ネットワーク通信（第71号、第72号）、防犯情報しょうなん（第134号、第135号）の案内と増刷（の要望を受け付ける旨を説明…希望団体には9月8日以降に提供予定
- ✓ 次回の本会議は10月、11月の第1土曜日午前中で会場を確保するので、防災訓練の協議を希望される団体は使用可能である旨を説明した【本紙面巻末参照】。次回は11月25日の防犯講習会が定例

会議となる。添付のチラシ（広報しようなん原稿案）を参照。

- ✓ 各団体での無線機を利用した交信の手順は、個別に各団体にご案内します（交信チャンネルは CH20+UC440 でお願ひします）
- ✓ 希望団体には本会議後に無線機（トランシーバー）の基本的な使用方法につき案内し、正午から実際の交信訓練（感度確認）を行いました。

以 上